

会長就任の挨拶

名張市遺族連合会 会長 若山東男

この度、令和2年5月 22 日に開催された名張市遺族連合会の役員会において、会長に選任されました。その責務の重大さに、身の引き締まる思いであります。

遺族会の目的は、国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰籍救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することとなっております。

先の大戦では全国で 300 万人余、名張市では 1,181 人の方々が戦死されました。

ビルマの戦地で、父を 2 歳で亡くした私は、ご推挙いただき、平成 26 年より 6 年間、美旗地区遺族会の会長を務めさせていただきました。

終戦後 75 年目を迎え、戦後生まれの人たちが 8 割を超え、悲惨な戦争を実体験した世代は少なる中、本連合会においても会員が 664 名に減少し、高齢化も進んでいます。

私たち連合会は、女性部、新世代の会と力を合わせ、今日の平和と繁栄の礎となられたご英霊の御霊を永遠にお祀りし、尊い犠牲を風化させることなく、恒久平和を次の世代に伝えていくことの責任を決意新たにスタートをします。

関係各位のお力添えをいただきながら、精一杯の努力を致しますので、皆様方のご理解とご協力、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます、就任の挨拶と致します。